

令和5年度 帯広市職場体験実習実施報告

帯広市 市民福祉部 福祉支援室 障害福祉課

1. 職場体験実習の内容

(1) 目的

障害のある方を市の各部署に職場体験実習者（以下「実習者」という。）として受け入れ、実習を通して職業能力の向上及び社会人としてのマナーや教養の習得を支援することにより、一般就労への関心を高めるとともに、市職員の障害のある方への理解促進を図ることを目的とする。

(2) 実習対象者

帯広市内の就労系障害福祉サービス事業所の利用者などで、将来、企業等での就労を目指す意欲を有している者。

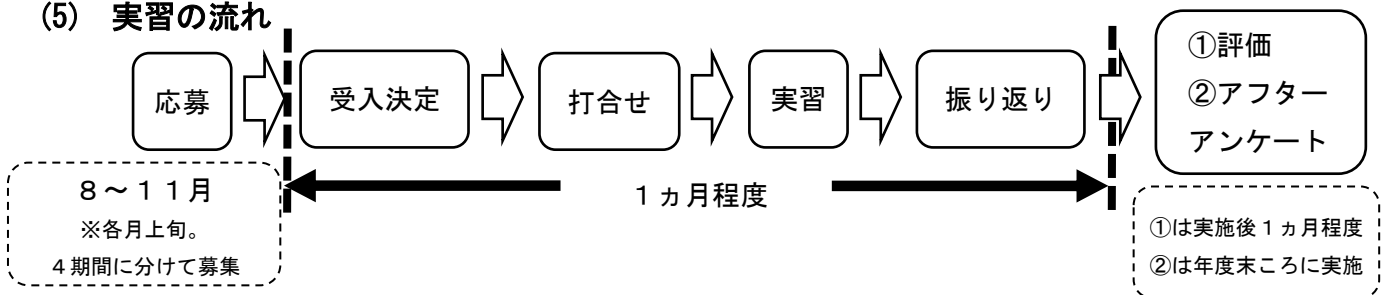
(3) 受入期間

令和5年8月から令和6年2月までの期間で、実習者1人あたりの実習期間を概ね2日間から1週間以内とし、午前8時45分から午後5時30分（正午から午後1時までは休憩時間）の間の時間帯とした。

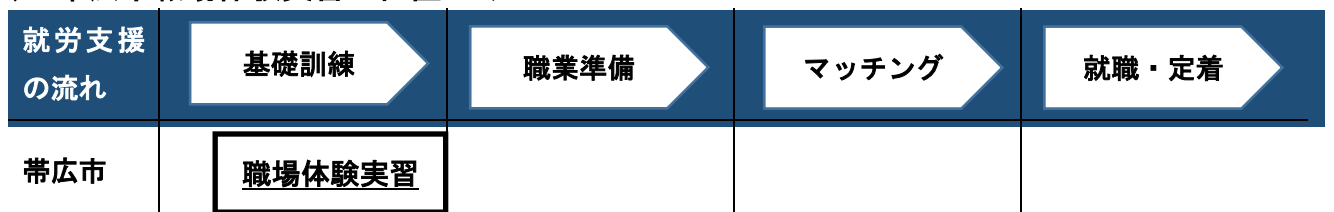
(4) 受入課及び実施人数

受入課	実習参加人数
13	18

(5) 実習の流れ



(6) 帯広市職場体験実習の位置づけ



- 帯広市役所の仕事を通じて、“今まで経験していない仕事にふれる”、“事業所で培ったチカラを試す”、“本人の自信につなげる”、“努力すべき課題を見つける”…などなど、次のステップに進むための足掛かりとなるものです。

2. 実習実施内容（実施日付順）

1 子育て支援課

9月19日～9月20日の2日間、2名の実施。
実習内容は、オレンジリボンの作成作業。

実習者の声

- ・同じことを繰り返す作業は苦手ではないため、今後そういった仕事をしてみたいと思った。
- ・細かい作業が多く難しかったが、1日目より2日目のほうが上手にできるようになり、達成感を得られた。

支援員の声

- ・事業所では準備、作業、片づけといった作業の流れを意識しており、それを実習のなかでしっかり実践できていた。
- ・緊張している様子がみられたが、しっかり挨拶や報告・相談ができていた。

受入課の声

- ・リボンにボンドを塗る時に1日目は爪楊枝を使ってもらっていたが、2日目には綿棒を自宅から用意してくれてくれた。そのため2日目には作業スピードもあがった。綿棒を使うと塗りやすいという新しい発見をしてくれ大変ありがたい。



2 生活支援第1・2課

9月21日～9月22日の2日間、1名の実施。
実習内容は、封筒へのチェック付、書類の点検、クリップ留め等の事務作業。

実習者の声

- ・作業スピードに意識を持ち仕事を進めることができた。
- ・慣れない作業をする時に混乱しがちになるが、落ち着いて作業ができるように心がけていきたい。

支援員の声

- ・2日間という短い時間のなかで色々な作業を体験させてもらい、本人にとって想像以上に良い経験ができたと思う。

受入課の声

- ・集中力が高く作業もスムーズに行ってもらえ、たくさんの仕事をお願いでき大変助かった。
- ・実習生の受け入れを初めてしたが、障害を持っている人に対する考え方、感じ方に課内の職員に変化をもたらし、よい影響を与えてくれた。



3 市民活動課

10月30日～10月31日の2日間、2名の実施。
実習内容は、パープルリボンの作成作業。



実習者の声

- ・報告の時に友達口調になってしまうなど敬語がうまく使えなかったことが反省点。
- ・初めてやる作業でも手順がわかれば黙々と進めることができると感じた。
- ・いつもと違う環境だったが不安にならず指示されたとおりの作業をすることができた。

支援員の声

- ・公共交通機関を利用して市役所に行く、スーツを着て出勤する、上司に報告や相談をする、といった「仕事をするとはどういうことか」を体験でき、よい経験が つめた実習になった。

受入課の声

- ・最初に作成する個数を目標設定し、達成にむけて頑張ってくれた。仕上がりも丁寧でありがたい。慣れない環境だったと思うが挨拶や報告など元気に声掛けを行ってくれてうれしかった。



4 健康推進課

11月14日～11月15日の2日間、1名の実施。
実習内容は、イベントで配布する資料のセッティング等。

実習者の声

- ・最初に頑張りすぎて、後半集中力が切れてしまった。ペース配分を考えながら仕事をするを今後意識していきたい。
- ・事業所で訓練している報連相の声掛けについて、実習の場でも実践することができた。挨拶はもっと大きな声で行えるように気をつけたい。

支援員の声

- ・職員の方と長い時間、連続した日にちで仕事をすることで新しい経験値を増やただけでなく、本人が自分自身の課題に気づくことができた等とてもよい実習になった。

受入課の声

- ・初日はとても緊張していた様子でしたが、一緒に仕事をするなかでだんだんと表情が柔らかくなっていき安心しました。
- ・作業はとても丁寧に行ってもらいました。作業の進め方について、自分のやりやすい方法を考えられるようになると更によいと思います。



5 市民活動課

11月29日～12月1日の3日間、1名の実施。
実習内容は、市民配布用平和カレンダーを丸めてテープ止め作業。



実習者の声

- ・同じ作業を3日間続けたが、辛いとは感じなかった。継続して同じ作業を続けていけることが強みなので今後の就職活動に活かしていきたい。
- ・最初は作業に慣れず斜めに丸まってしまうなど難しかった。3日目には慣れてきて作業自体はよくできたと思う。ただ、もっと枚数を巻けたと感ずるので自己評価は低めにつけた。

支援員の声

- ・昼休み休憩のある長時間の実習に参加したことで、お昼のお弁当も自分で作ってきたと聞いた。とても良い経験になったと思う。
- ・今後は自分の作業について100点を目指して欲しい。



受入課の声

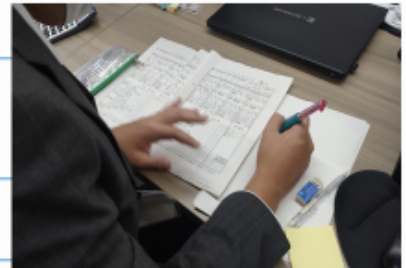
- ・作業の進め方、やり方について相談しつつ的確に作業を行っていただきとても助かった。
- ・仕事が丁寧で一切問題のない出来上がりだった。

6 動物園

12月4日の1日間、1名の実施。
実習内容は、車両日誌整理(時間計算)の事務作業。

実習者の声

- ・時間計算はスムーズに行えたが、見直した際に間違っているところを発見した。正確なデータを一回で出せるようにしていきたい。



支援員の声

- ・時間の計算をする時に裏紙を使ってメモをとるなど事業所での訓練を発揮することができたと思う。本人は事務職を希望しているので良い経験になったと思う。

受入課の声

- ・慣れない人には難しい作業をお願いしたが、間違いなく行ってもらえた。しっかりメモをして、間違いを防ぐための行動をとっていたと思う。

7 動物園

12月4日～12月6日の3日間、3名の実施。
実習内容は、獣舎の清掃や牧草運びなどの外作業。

実習者の声

- ・体を動かす作業をやってみてとても達成感があった。事務作業よりも自分に向いているように感じた。
- ・実習で手話でコミュニケーションをとる方法を知った。話すことが苦手なのでうれしかった。
- ・楽しく丁寧に掃除を行うことができた。



支援員の声

- ・最初はかなり緊張していたようだが、次第に表情も柔らかくなり作業も自信をもって取り組んでいるように感じられた。
- ・複数人の実習だったので安心感を持って仕事に取り組めたと思う。
- ・先頭に立って仕事を進めてくれた実習生がいたため仕事はスムーズに行っていたが、一般就職を目指す際には自分から動くことができるようになって欲しい。



受入課の声

- ・几帳面に丁寧な仕事をしてもらった。本人の強みでもあるようなので活かして行って欲しい。
- ・作業のお願いをしやすく、仕事も率先して行ってくれとても助かった。
- ・話すのが苦手ということで手話を教え、意思疎通を手話で行ってみた。初めての实習で緊張もあり大変だったと思うが楽しかったと言ってくれてよかった。



8 生涯学習文化課

12月14日～15日の2日間、2名の実施。
実習内容は、「まなびや」冬号の製本・封入作業。

実習者の声

- ・初めて実習に参加し、緊張もしたが楽しく作業を進めることができた。
- ・適度に休憩を取りながら仕事をする必要性を知れた。
- ・会社で仕事をするということがどういうことか、イメージができた。



支援員の声

- ・事業所で行っている作業とは違う系統の実習に参加したことで、仕事の適性について確認することができた。
- ・社会での経験があまりないので、今回のような実習に参加することができ良かった。



受入課の声

- ・率先して作業を行っていただきとても助かった。
- ・適度に休憩をとりながら仕事のペースを考えられれば、もっと楽しく仕事を進められると思う。



9 地域福祉課

12月21日～22日の2日間、1名の実施。
実習内容は、市民アンケート調査票開封等の事務作業。

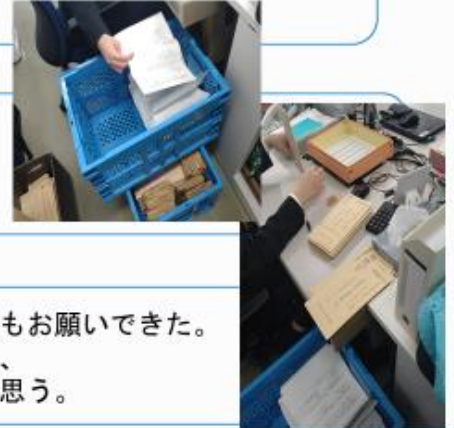
実習者の声

- ・指導員に作業の相談をするなど、コミュニケーションを取りながら実習を進めることができた。
- ・一般就労を目指しているため、就職後に仕事を続けていけるように今後も実習等で経験を積みモチベーションを上げていきたい。



支援員の声

- ・周囲に初対面の職員がいる中でコミュニケーションをとりながら作業を進めることができおり、成長を感じることができた。



受入課の声

- ・順調に作業を進めてもらい予定していた作業が終ったので別の仕事もお願いできた。
- ・隣の人と話すとき、少し離れた人と話すとき、複数の人と話すとき、それぞれ場面に応じた声の大きさを意識できるようになるとよいと思う。

10 商業労働課

12月21日～22日の2日間、1名の実施。
実習内容は、パンフレットへのチラシはさみ込み、麦わら帽子にピンバッジをつける作業。

実習者の声

- ・仕事のペース配分がわからず焦りの気持ちがあった。今後、経験を積むことで仕事の見通しを意識できるようになりたい。
- ・苦手意識を持たず依頼された仕事に取り組めるようになりたい。



支援員の声

- ・決められた時間にバスで出勤するという経験をしてもらった。しっかり出勤をして仕事を終わられて良かった。
- ・今回得られた課題について自分の中でどう生かしていくか一緒に考えていきたい。



受入課の声

- ・用件を話すときにクッション言葉を自然に使うなど、仕事だけでなくマナーの面においても丁寧な印象を受けた。
- ・コツコツ行う仕事は必ずある。そのためにモチベーションを保つ意識を持つことは必要だと思う。

11 介護高齢福祉課

1月23日の1日間、1名の実施。
実習内容は、書類・物品整理、郵便物の開封などの事務作業。

実習者の声

- ・様々な種類の仕事にチャレンジし疲れも感じたがそれ以上に達成感を得ることができた。
- ・事業所で学習しているビジネス用語を使いこなせなかったことが反省点。
- ・この経験を今後、企業実習にも活かしていきたい。



支援員の声

- ・受入課の担当職員の方が作業の見本を丁寧にを見せてくれるなどの配慮がありがたかった。
- ・実践的な作業を経験できたことは本人にとってよい経験になった。

受入課の声

- ・仕事に取り組む姿勢が前向きでとてもよかった。
- ・挨拶やお礼の言葉などしっかりしていた。もう少し声が大きくなるとよいと思う。



12 国保課

2月6日～7日の2日間、1名の実施。
実習内容は、PC入力、ファイル作成、文書整理などの事務作業。

実習者の声

- ・仕事内容の説明を受けた時は難しそうに感じミスをしないう不安だったが、実際に仕事を進めてみると思いのほかでき自信につながった。
- ・職員の方とたくさんコミュニケーションを取りながら仕事ができとても楽しい実習だった。



支援員の声

- ・事業所で学んだことをどのように仕事に発揮できるかを考え、前向きな姿勢で実習に取り組んでいた。
- ・本人にとって課題だったコミュニケーションは、現場ではしっかりできていることを示してくれた。



受入課の声

- ・コミュニケーションをとりながら作業を進めたが、手が止まったりすることがなく手早く丁寧に仕事をする姿に驚いた。
- ・仕事内容の理解が早く、自分で仕事の進め方を考えるなど工夫を感じられた。

13 企画課

2月8日～9日の2日間、1名の実施。
実習内容は、ファイルの作成、整理などの事務作業。

実習者の声

- ・作業について丁寧に教えてくれて理解しやすかった。
- ・課題としていた仕事のペース配分について一歩前進できた実習だった。



支援員の声

- ・自分のやり方に過度にこだわりを持つのではなく、人から教わったやり方などの「作業標準」を持つことの重要性が認識、体験できた実習になった。
- ・事業所外で本人の良さをどのように発揮できるかを今後考えていきたいと感じた。



受入課の声

- ・事前の打ち合わせでコミュニケーションが苦手と言っていたが、一緒に仕事をするなかで課内の職員とも問題なくコミュニケーションがとれていた。
- ・実習期間中に作業がなくなると困ると思いたくさん業務を用意しておいたが、想像以上の量の作業を行ってくれた。



3. まとめ

実習生からは、「不安や緊張もあったが楽しく作業を進めることができた」という感想が聞かれたほか、「新しい課題が見つかった」「仕事の適性を考えるきっかけになった」など、様々な反応が見られました。事業所の支援員からは、「仕事をする、というイメージを持ついい経験ができた」「事業所内では見られない姿を見ることができ成長を感じた」などの感想をいただいています。

また、市役所で実習を受け入れた課においても、障害者に対する考え方、感じ方に変化が芽生え良い影響を職員にあたえたほか、社会的に必要なスキルとして報・連・相について指導するなど、実習生の就労意欲を踏まえて、後押しする場面も見られました。

実習生・事業所支援員、市役所職員の双方にとって、大変充実した実習生活を送ることができ、貴重な経験を積むことができたと思います。

4. 今後に向けて

帯広市では、職員の障害者理解を深めるため、受入課の拡大に努めています。しかし、そのためには、より多くの方に本実習にご参加いただく必要があります。

本事業は前述の1(6)帯広市職場体験実習の位置づけに記載のとおり、実習生にとっては、就労にむけた最初の一步となるものです。就労に意欲があって事業所で頑張ってきたことを試したい方、就労への意欲がなんだかなくなってきたと感じる方、今の事業所の仕事だけでなく新しい仕事を試してみたい方、ぜひ本事業の活用をご検討ください。